

2024年10月17日

各位

会社名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 森田 信 彦
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 体験型研修宿泊施設「そらすな」 グッドデザイン賞 2024 年度受賞

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、福岡県行橋市に事業主として整備した体験型研修宿泊施設「そらすな」において、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する2024年度の「グッドデザイン賞」を受賞しました。

■体験型研修宿泊施設「そらすな」について

本施設は、株式会社オリエンタルコンサルタンツが指定管理者として運営管理している長井浜公園内に、回遊性向上や交流促進を目的に、地域活性化の拠点となる体験型研修宿泊施設「そらすな」を事業主として（自己投資により）整備しました(2023年11月開業)。

「そらすな」は、客室の海側を覆う巨大な木製の階段により長井浜の海、砂浜と客室を繋ぎ、開放的、かつプライバシーを確保した空間が特徴です。客室は全室オーシャンビューを臨むことができ、自然に調和したシンプルなカラーリングデザインを基本としています。また、オーシャンビューバス、サウナ、暖炉、愛犬ステイ等の客室タイプがあり、その他、ジャグジーや BAR ルーム、各種研修等、様々なお客様ニーズに対応できる施設です。さらに、レストラン「Solasuna Dining」はランチ営業を行い、宿泊者以外のお客様も利用でき、行橋や長井浜の地域のお野菜やお米を中心に使用して、心も身体も喜ぶお料理を提供しています。

今後、「長井浜公園」や「そらすな」がお客様や地域の方々に愛される施設として、さらに質の高い施設の運営管理・サービスを提供し、長井地区及び行橋市の滞在人口や交流人口が増大するよう、地域の活性化に取り組んで参ります。

■グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>



■建物概要

事業者	株式会社オリエンタルコンサルタンツ		
設計者	Axonometric 株式会社		
施工者	株式会社志道工務店		
所在地	福岡県行橋市長井136-1 長井浜公園		
敷地面積	11,477.31 m ² (街区公園面積)		
建築面積	459.50 m ²		
延床面積	853.40 m ²		
構造・階数	鉄骨造 2階建て		
用途	宿泊、飲食、会議室		
竣工	2023年11月	動画で分かりやすくご紹介	
ホームページ	https://nagaihama-resort.com/solasuna/		

■デザインの方向性

- ①公園と建築の境界がなくなり溶け合ったような空間デザイン
 - ②敷地は地方の小さな都市公園
 - ③衰退する地方都市の未来を、小さな公園から変えていく
 - ④多様なテラスが公園と建築をつなぐ
- ※詳細は別紙参照

□受賞対象名：ホテル そらすな

□事業主体名：株式会社オリエンタルコンサルタンツ

□概要

浜辺に隣接した街区公園内に建つ宿泊施設。民間が提起する地域戦略の一端を担う。官民連携が進まない地方都市において、この建築が立地する公園の指定管理者が自ら投資し、住民や民間が主役となって経済社会活動を営むためのプラットフォームとして計画した。市内外から広く人を呼び、全国へ波及する取り組みとなることを目指す。

□デザインのポイント

1. 小さな都市公園を民間による経済活動の場として活用することで、官民が連携して地方都市の未来をつくる。
2. 地方都市の地域課題を解決するための「稼ぐ公共」を実現する空間デザイン。
3. 地域の環境資源や人的資源を面的に連携させ、地域活性化の拠点となる体験型研修宿泊施設。

□プロデューサー：株式会社オリエンタルコンサルタンツ 地域経営推進事業部 事業部長 川本卓史

□デザイナー：axonometric 株式会社 佐々木慧

□グッドデザイン賞審査員による評価コメント

都市部以外の小規模都市公園で官民連携を活用した好事例である。海辺の都市公園の中だからこそ、アクセスは海側からのみというドラマチックな平面計画を可能にしている。公園の外構デッキが、そのままシームレスに階段状に屋根まで上がっていく建築デザインは、あたかも公園が建築を包み込んでいるかのようで、それがかえって「この建築がここにある」ことの蓋然性を高めているように感じられる。自己主張を抑えながら海と公園と建築の一体性を高める主張を持つデザインは、今後の、特に小規模な都市公園における建築デザインのあり方に一石を投じており、グッドデザインと評価する。

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL : <https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤、丸山、門司





そらすな Beach Side Resort Hotel

1 公園と建築の境界がなくなり 溶け合ったような空間デザイン

それは具体的にどのようなものか？クライアントと共に、ハードソフト両面から検討を進めた。そして生まれたのが、太陽が昇る美しい海に向かい合い、途切れない水平線を建築の構成に取り込んだ大きな階段のようなイメージ。



2 敷地は地方の小さな都市公園

福岡の北東部、東に穏やかな海を有する行橋市長井浜。元々は漁村で、その後美しい海の景観を活かして旅館が立ち並んでいたが、景が薄れ人気がない土地となっていた。そこに近年、クライアントによって近年ビーチスポーツ・マリナクティビティが盛んな海水浴場とコンパクトな海浜公園が整備され、活気を取り戻しつつある。



3 衰退する地方都市の未来を、 小さな公園から変えていく

地方都市が抱える課題は、公園を育てることで解決できるはずだ。民間が主導して官民連携し、除く公共/除く公園の理念によってそれを実現する。小さな都市公園をそれを実践できれば、他の同じ課題を抱える地方都市も変えていくことができる。そのような思いで、クライアントは本計画地である長井浜公園の指定管理者となり、その後、地域活性化の拠点として公園内に宿泊施設を建ててもらうこと、その後、地産地消の拠点となる観光客の誘致、そして、漁業・観光など地域にある資源と連携させること、その土地にある豊かな自然を守り体験できること。そのために自然に開かれ、公園と一体的に利用できること。このような、人・自然・街を繋げるためのプラットフォームとなる場所が求められた。衰退する地方都市の未来を小さな公園から変えていく。その見本となるのが、ソフト・ハード共に様々なチャレンジと地域社会へのメッセージを詰め込んだプロジェクトである。



「除く公共」のしくみで公園を変える

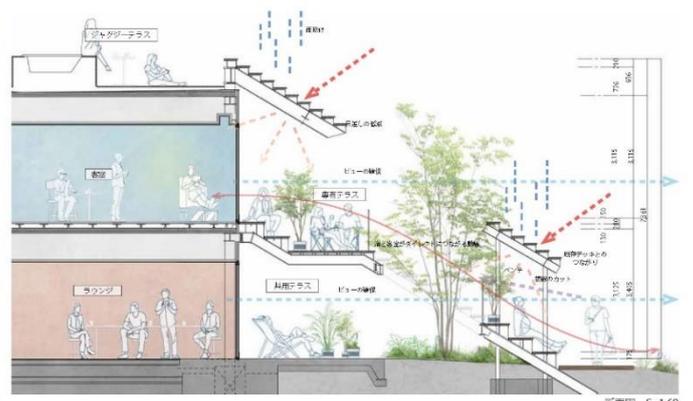
そらすなを中心として人・自然・街がつながる



公園の延長としてできた大きな階段は、客室と海をダイレクトに繋ぎ、海に向かう多様な層場所をつくる。

4 多様なテラスが公園と建築をつなぐ

階段状のテラスは、客室と公園/海を最短距離で繋ぐ動線であり、海に向かう観客席となる。ゲストはビーチから直接自分の客室に出入りでき、客室からはビーチ・海・空のビューが楽しめ、自然の美しさを最大限に楽しむことができる。公園から離れた海段が多層に重なり合って多様な層場所が生まれ、公園を使う人、遠くから訪れた人、地元の人たちが気軽に利用しコミュニティを形成することができるような、開かれた場所になっている。人々がその土地の自然と触れ合い、集まり、街を元気にしていく。その象徴となる場所に育っていくことを願っている。



断面図 S=1/60

階段の踊り場で BBQ をしたり、海へ向かう大きなベンチとなったり、多様な層外空間が生まれる。

建築規模: 1,167.19㎡
 所在地: 福岡県行橋市長井浜 136-1
 用途: ホテル
 設計者: 株式会社アトミック・コンストラクション
 設計: 株式会社アトミック・コンストラクション
 建築費: 499.5万円、完成費: 833.0万円
 設計者: atomyinc
 施工: 株式会社三誠建設
 発注者: 株式会社アトミック・コンストラクション
 完成時期: 2021年10月~2023年2月
 竣工時期: 2023年2月~2023年11月
 主な外部出: 豊橋、シー・パーク、5階、メーヌ
 主な内部出: 床、フロア、階段、クロス、天井、クロス
 建築費: 499.5万円、完成費: 833.0万円